



# BIKEPORTER PRO 取扱説明書

このたびは ACOR バイクポータープロをお買い上げいただきありがとうございます。

本製品は部品の着脱など、簡単な整備が出来ることを前提に設計した PRO サイズです。スポーツバイクの組み立てについて自信が無い方は、お客様の安全を確保するためにもご使用にならないでください。

## バイクポーターの組み立て

各辺を折り目にそって端からゆっくり折り曲げて下さい。

底部を繊維の入ったガムテープで綴じ写真のように重ね貼りをして補強して下さい。



## 自転車の準備

① 突起物になるものを外します。

前後輪、ペダル、DHバー、ハンドルバーを取り外します。

サイクルコンピューター、ステア類などは取り外したり、角度を変えるなどして破損を防ぎましょう。

② サドルを下にして、ハンドルをフレームに抱きつけて固定、リアディレーラーも外し、緩衝材でくるんでフレームに固定します。

③ 前後輪でフレームを挟むようにまとめ、結束バンドなどで数カ所固定します。フレームとホイールの間に緩衝材を挟み輸送中のダメージを防ぎましょう。

※固定には繰り返し使える 2Way タイプのタイラップが便利です。

## 収納

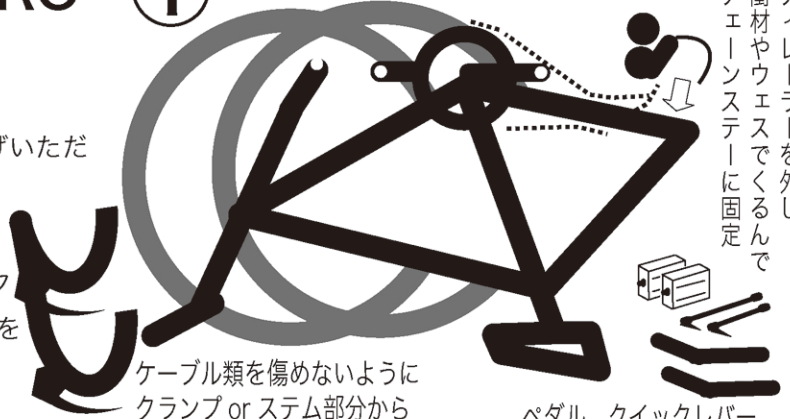
サドルが下向きのまま、収納して下さい。

フレームが箱の中で動かないように隙間を段ボールやエアパッキンなどの緩衝材で埋めます。衣類やウェットスーツなどを詰め、空きスペースを有効に活用するのがコツです。

クイックやクランプ類などは紛失しないよう、袋に入れて同梱しましょう。

航空会社の受託貨物条件によっては、ホイールケースを用いてバイクポーターと別々に預ける方法も便利ですが、トランジットがある場合はあまりおすすめできません。

①



ケーブル類を傷めないようにクランプ or ステム部分からハンドルバーを取り外す

ペダル、クイックレバー、DHバーなど突起物を外し緩衝材でくるむ

リアディレーラーを外し、緩衝材やウエスでくるんでチェーンステーに固定

②

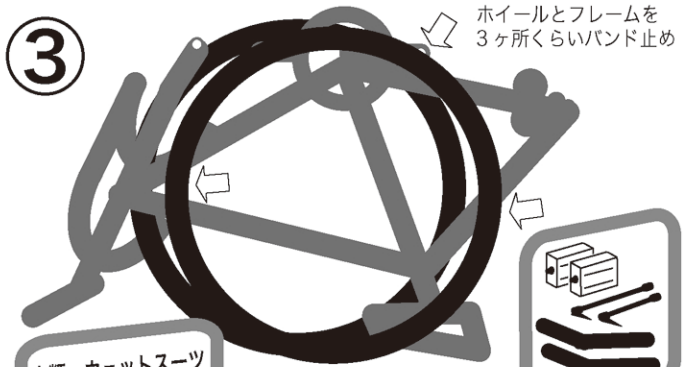


ハンドルをフレームに固定

※ブレーキアウターが短くハンドルバーが取り回せない場合はブレーキキャリアも外します

チェーンが暴れないようにチェーンステーに固定

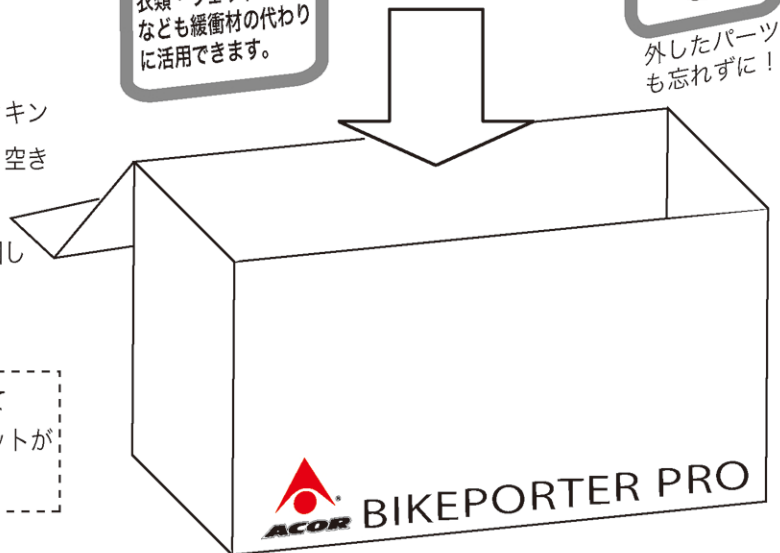
③



ホイールとフレームを3ヶ所くらいバンド止め

衣類・ウェットスーツなども緩衝材の代わりに活用できます。

外したパーツも忘れずに！



注) フレームサイズによってはシートポストを下げる or 抜く必要があります。抜く場合はシートチューブ先端が変形しないように保護材を追加して下さい。